

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年 3月23日

研究・研修課題名	医師事務作業補助者養成研修
研究・研修組織名（所属）	医療サービス課
研究・研修責任者名（所属）	奥井 博
共同研究・研修者名（所属）	

目的及び方法、成果の内容

①目 的（800字程度）

大学病院における医師・看護師等の過酷な勤務状況を緩和し、本来の業務に専念できる環境を整備することとなっており、医師及び医療関係職と事務職員との間での役割分担を推進することが求められている。一定の条件の下で医師に代わって医療秘書等の事務職員が記載を代行することも可能となっている。

本研究費の助成により医師事務作業補助者養成研修修了者の養成を図る。

②方 法（800字程度）

ニチイ学館が主催するメディカルドクターズクラーク講座受講を実施し、医師事務作業補助技能認定試験の受験・合格を目指す。以て、新規採用クラーク等の医師クラーク資格取得者の増員を図る。

平成28年度は5名の参加により、平成28年9月から10月にかけて土曜日に4回（5時間/回）実施した。

また、昨年度同様に参加者アンケートを実施し、その結果は次のとおりであった。（アンケート回収人数3名）

1. 講座内容について ①良く理解できた（1名） ②理解できた（2名） ③理解できなかった（0名）
2. 講師の指導について ①大変良かった（3名） ②良かった（0名） ③悪かった（0名）
3. 講座に参加して ①大変良かった（3名） ②普通（0名） ③参加しなければ良かった（0名）
4. 講座修了後の満足度について ①大変満足（1名） ②満足（2名） ③不満（0名） 未回答（0名）
5. 講座の時間の長さについて ①長すぎた（0名） ②適当（2名） ③短すぎた（1名）
6. 講座の開催時期について ①早い（0名） ②良い（3名） ③遅い（0名）
7. 技能認定試験受験について ①11月予定（2名） ②1月以降予定（1月）（1名）

③成 果（データ等の図表を入れて2000字程度）

受講者は今回の講習及び自宅学習を基に医師事務作業補助技能認定試験を受験し、受講者4名が合格した。今後、この成果を病棟及び外来等において医師の事務作業の負担軽減に繋げたい。なお、受講者1名は11月30日に当院を退職したため、技能認定試験の受験及び合否については不明である。